



発信年月日：令和4年(2022年)7月22日

所属名：湖北農産普及課

番号：G22009

部門分類：610 (担い手育成)

発信者名：兼房、川村

## 集落営農組織の広域連携に向けた先進地視察研修会を開催

7月2日、米原市東草野地域4集落(甲津原・曲谷・甲賀・上板並)の各営農組織構成員を対象に、福井県小浜市宮川地区にある広域営農組織「(株)若狭の恵」と営農サポート組織「(一社)宮川グリーンネットワーク」の先進地視察研修を開催しました。集落営農組織から13名が参加されました。

視察先では、「(株)若狭の恵」代表取締役社長の前野氏から、広域営農組織「(株)若狭の恵」と営農サポート組織「(一社)宮川グリーンネットワーク」の設立経緯や活動の概要をお聞きしました。「(株)若狭の恵」が取り組まれているスマート農業実証プロジェクト(ロボットトラクター/田植機、ほ場管理システム等)についての説明や、「(株)若狭の恵」の米の乾燥・精米施設の見学もさせていただきました。6つの行政区からなる宮川地区では、農業従事者の高齢化と過疎化による担い手減少で耕作放棄地の増加が問題となっていたため、平成4年に「宮川の農業を考える会」が有志で設立された後、約25年間かけて、ほ場整備事業活用や営農組織設立、その後、広域化組織が設立されています。研修に参加された方々は、広域組織設立に至るまでに課題となった点や苦労した点、人材の確保の仕方等について数多く質問をされていました。

伊吹地域の姉川沿いの中山間地帯に位置する当地域では、各集落に営農組織(法人1、任意組織3)があります。令和2年度に開催した「集落営農を次世代へつなぐ研修会」へ参加され、4集落の連携強化や集落内出身者の人材活用等の方針を打ち出されました。令和2年度から中山間直接支払、農村まるごと保全向上対策を広域的に取り組み、令和3年度には農業機械共同利用および作業受委託のための組織も設立されています。今回の先進地視察研修により、さらに集落間連携を強め広域営農組織設立に向けた機運を高めることができました。



座学研修(広域組織設立経緯等について)



米の乾燥調製・精米施設見学